

資料配付の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会
2. 国土交通記者会
3. 国土交通省建設専門紙記者会

日時:令和4年11月24日(14:00)



令和4年11月24日
国立研究開発法人土木研究所

土木研究所100年の歴史！ 土木研究所の刊行図書をWeb公開します

土木研究所は、大正10年（1921年）に内務省土木局に設置された道路材料試験所を端緒とし、翌年の大正11年（1922年）9月30日に内務省土木試験所として発足してから、100周年を迎えることになりました。

100周年を契機に、これまで土木研究所が発表・刊行してきた約5千冊の資料等をPDF形式で皆さんに公開します。古くは大正14年（1925年）3月25日に発行された土木研究所報告（1号は土木試験所彙報の名称：別紙1参照）から、土木研究所が関係した数々の技術基準の根拠となるような資料や歴史的な災害に関する報告書を含んでおります。土木技術者や研究者のみならず、ご興味のある方は是非ご覧ください。

1. 公開開始 令和4年11月18日（土木の日）から公開中

2. 公開 URL <https://www.pwri.go.jp/jpn/results/db/index.html>

※土木研究所 HP のトップページから「研究成果・技術情報」⇒「発表論文・刊行物データベース」でもご覧になれます

3. 公開情報 土木研究所報告（No.1〔大正14年〕以降の約200冊）
土木研究所彙報（No.1〔昭和24年〕以降の約70冊）
土木研究所資料（No.1〔昭和39年〕以降の約4000冊）
共同研究報告書（No.2〔昭和62年〕以降の約500冊）
その他、研究課題の成果報告書や発表論文情報等

※今後、さらに公開情報を充実していく予定です

【問い合わせ先】

国立研究開発法人土木研究所 企画部研究企画課 Tel : 029-879-6751

研究評価・国際室 室長 やまき まさひこ 山木 正彦
主査 ののむら よしのり 野々村 佳哲



土木研究所報告 第1号

ここでは大正14年3月25日に発行された土木研究所(当時、土木試験所)第1号の報告書をご紹介します(表紙と目次と序文)。

初めての発行物であるためか、成果報告の他、土木試験所設置に関する法令規則等が掲載。

舗装に用いる材料の試験研究、道路勾配等が馬車に及ぼす影響等の調査を実施。

土木研究所が初めて発行した報告書。1号のみ彙報とされた。

初めでの発行物であるためか、成果報告の他、土木試験所設置に関する法令規則等が掲載。

一、法令規則
 内務省官制抄録……………五五
 内務部内臨時職員設置制抄録……………五五
 内務省土木試験所設置の件(大正十一年九月)……………五六
 土木試験所取扱事務及處務並會計に關する規定准用方の件(大正十一年九月)……………五六
 内務省土木出張所處務規程(明治三十八年十月)……………五六
 土木出張所會計事務に關する取扱方の件(明治三十八年四月)……………五七
 内務省土木試験所處務細則(内務省訓令第十七號)……………五八
 二、人事……………六一
 三、雜……………六四
 内務省土木試験所の沿革と其の事業……………六四

瀝青(れきせい):天然に産出する炭化水素類。舗装に使用されるアスファルトも含まれる。

一、瀝青質材料……………五
 二、非瀝青質材料……………五
 試験成績欄……………五
 目次……………五
 研究欄……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第二十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第三十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第四十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第五十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第六十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第七十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第八十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十一報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十二報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十三報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十四報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十五報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十六報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十七報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十八報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第九十九報……………五
 瀝青質材料並瀝青質混合物に關する研究第一百報……………五

土木試験所彙報 第一輯

5/10.5
12.52

第1252號
昭和9年7月24日

内務省土木試験所

④道路技術の基準を定め、道路の改良を図る使命を帯びている土木試験所であるが、現段階では道半ばである。

③道路整備において、条件が異なる歐米の後を追いつ、失敗を繰り返すことは無謀である。

①鉄道や船舶に比べ、道路の整備が遅れている。

小序

庄司考著 經濟問答秘録の中に、「道路の清否を見て國の盛衰を知るべし」とある如く、舊幕時代に於ても少しく經濟に志ある者は、夙に道路改良の必要を感ずりて居つたやうではあるが、封建制度に固有なる王公設險以守其國の經武政策の前には、此の名言も終に要路の顧みらる所とならなかつた。斯の如くにして本と歩騎と駄運とを以て始まりたる我國の道路交通は大體其の儘で明治の維新を迎へたのである。

爾來右文左武の聖政は、國運に長足の進歩を來たさしめ、例へば鐵道に船舶に非常の發達を遂げたが、獨道路のみは舊に依つて舊の如く、其の間幅員其他の構造に關し、二の遠謀ある法令の發布を見たが、時の非か人の罪か、久しからずして路政は淪替し終に能く行はれず、復又半世紀を空過したるは實に千載の恨事と謂ふべきである。

然るに、輓近商工業の振張と自動車の普及とにより、從來銘刀蓄せられたる我國の道路は、遽に干將用せらるゝに至つて、所在見るに忍びざる慘懷の跡を留め、或は沿道住民の保健、或は路上往來の危險、或は貨物運賃の騰貴等國民の生活を脅威する問題が、明暗裏に夫から夫へと萬丈の黃塵と共に、今尙渦巻きつゝある。此の迫害状態と會々藝に制定せられたる道路法とにより、國民は漸く道路の改良に目覺めて、今や良道一多道の叫は、翕然として天下の聲となつて來た。

此の秋に方り有效にして經濟的なる良道の築造保存の長策を建つるは、將來民費を輕減し又國帑を制節する要諦の一たるを疑はぬ。然るに我國と氣候風土や交通情勢其の他の狀況を異にする歐米の文跡を追ひ、幾たびか蹉跌の敗を重ねて、僅に必成の功を期する偶中主義に由ることは、道路改良の如き比較的巨額の費用と多大の日子とを要するものありては、經濟上極めて無謀なる舉であり、又出るにも道路に入るにも道路の利便を公衆に缺がしめて、數々通行停止を要する、改築大修理を餘儀なくする不都合を伴ふを以て、國民の生活に過大なる犠牲と謂はざるを得ぬ。

當試験所は以上述ぶるが如き時勢の要求に促されて、全國道路材料の利用價を度り、我國に特有なる道路技術の規準を定め、道路の改良發達を圖るべき使命を帯びて生れたのであるが、事業開始後日向淺く、成績の未だ甚だ見るべきものなきを愧づるのである。今假すに多少の時日を以てせば、庶幾くば模倣文明を離れて、利用厚生の何物かを齎らし得べけんか。茲に所報第一輯を刊行するに方り、聊か所感を披瀝し以て序に代ふと云爾。

大正十三年七月

内務省土木試験所

土木研究所(当時、土木試験所)第1号の報告書の表示方法の一例

- ① 当該ページ(<https://www.pwri.go.jp/jpn/results/db/index.html>)から更に「発表論文・刊行物データベース」を選択し、一番下に表示される「土木研究所報告」をクリック

国立研究開発法人 土木研究所
PUBLIC WORKS RESEARCH INSTITUTE

論文・刊行物検索

土木研究所で発表された論文や刊行物を検索することができます。検索方法は、新着一覧のほか研究室別、年度別などですがすることができます。

論文・刊行物 検索

論文

刊行物

土木研究所刊行物

土木研究所資料 / 共同研究報告書 / 土木研究所報告 / 土木研究所英文報告 / 土木研究所集報 / 研究開発プログラム報告書(旧名・重点プロジェクト研究報告書) / 成果報告書 / その他出版物(パンフレット・広報紙・書籍) / プログラム・要領等の提供

下へスクロール

土木研究所報告をクリック

ホームへ

Copyright (C) 2022 Independent Administrative Institution Public Works Research Institute

- ② 年度別に表示されるため、目的の「巻・号・回」が表示されるまで移動

国立研究開発法人 土木研究所
PUBLIC WORKS RESEARCH INSTITUTE

論文・刊行物検索

刊行物 <土木研究所報告>

2022年度

前年度への移動リンクのクリックを繰り返す

発表年月	タイトル	著者	発表先	巻・号・回
刊行物は登録されていません。				

2021年度 << >>

ホームへ 検索トップへ

Copyright (C) 2022 Independent Administrative Institution Public Works Research Institute

- ③ 目的の「巻・号・回」が表示されたら「タイトル」のリンクをクリック

国立研究開発法人 土木研究所
PUBLIC WORKS RESEARCH INSTITUTE

論文・刊行物検索

刊行物 <土木研究所報告>

1924年度

表示したいタイトルをクリック

発表年月	タイトル	著者	発表先	巻・号・回
1925年03月01日	路面及び勾配が馬車運送に及ぼす影響に就ての研究中間報告	牧彦七 (内務省土木試験所)	土木研究所報告	第1号
1925年03月01日	瀝青質材料並に瀝青混合物に関する研究 第一報	三木己代吉 (内務省土木試験所)	土木研究所報告	第1号

1923年度 << >> 1925年度

ホームへ 検索トップへ

Copyright (C) 2022 Independent Administrative Institution Public Works Research Institute